



# インフルエンザ予防接種

## インフルエンザと獲得免疫

はたらく細胞 第3話(1巻)／第13話(3巻)

2024年8月に健康経営活動の一環として、まんが「はたらく細胞1巻～6巻」を各営業所に設置させていただきました。健康な状態のときに起きたトラブルに対して、細胞たちがどのように動くかが描かれています。血小板ちゃんがかわいさ、マクロファージは頼もしいお姉さんぶり、キラーT細胞の脳筋タイプの戦闘員の活躍、そして白血球さんの血管の壁をすり抜けるチート技など楽しく知識を学べます。

今期は健康診断の結果を鑑み、「はたらく細胞 BLACK」の追加設置を検討しています。BLACK企業のような劣悪な環境で働く細胞の物語です。喫煙、飲酒、糖尿病やがんなどのリスクに対する理解を深めることができます。皆さんのからだはBLACK企業化していませんか？

さて、今回のテーマは、「インフルエンザ予防接種」です。11月からの接種開始に合わせて、はたらく細胞シリーズの中でインフルエンザと免疫に関するエピソードが書かれているページをご紹介します。

※著作権があるため、漫画をコピーして紹介ができないので、頑張ります。



### はたらく細胞 1巻 第3話 「インフルエンザ」のあらすじ

体内に侵入し、細胞をゾンビ化させながら増殖するインフルエンザウイルス。これに対抗するため、白血球たちとウイルスとの激しい戦いが始まります。

今回登場する主な細胞は白血球の一種で、ほぼ戦闘要員です。好中球、マクロファージ、ナイーブT細胞、キラーT細胞、司令塔的存在の樹状細胞、指示出しと統率をするヘルパーT細胞などです。戦闘要員の成長過程も（ナイーブT細胞が樹状細胞にノセラレ、活性化。キラーT細胞へと分化・成長する）描かれています。また、発熱や食欲減退といった症状がほかの細胞たちによって必要な防除反応として引き起こされていることも描かれていて、からだの仕組みへの理解が深まります。たくさんの細胞たちが一丸となってインフルエンザウイルスを体内から消滅させることに成功します。



### はたらく細胞 3巻 第13話 「獲得免疫」のあらすじ

おたふく風邪（ムンプスウイルス）との激しい戦いのなか、白血球たちが奮闘する一方で、厨二病をわずらっている？記憶細胞と抗体を生産しているB細胞が大活躍する話です。

過去、予防接種で投与された弱体化された抗原情報を持っているはずなのに、なかなか思い出せず「未来予知では？」と、なかなか思い出さない記憶細胞。その記憶を頼りに抗体を生産するB細胞は他の細胞に抗体を作れとせかされます。業を煮やしたB細胞が記憶細胞を殴った衝撃で、過去の情報が引き出され、やっと抗体がムンプスウイルスを撃退することに成功します。

後天的に会得した免疫（獲得免疫）がどのように使われるのかが分かり易く描かれています。また、予防接種の意味を理解するのにぴったりな内容です。

インフルエンザワクチンは、接種後約2週間で免疫が獲得され、効果は約5ヶ月間持続すると言われていています。過去には、10月に接種した方が翌年2月中旬にインフルエンザに罹患するケースが多かったことから、11月からの接種開始とさせていただきます。免疫獲得までに時間がかかるため、早めの接種をおすすめします。

エピソードを通じて、体内での免疫の働きへの理解を深めるきっかけとして紹介しました。さらに、今回は紹介したページをもとにTUNAGクイズ企画を実施します。回答期間：11月15日～21日。抽選で10名様に「お菓子などセット」をプレゼント。ぜひご参加ください。裏面をチェック！



# クイズ

(はたらく細胞を読んでお答えください)

回答期限:11月15日~21日 (TUNAG内)

①白血球(好中球)が炎症部に向かって血管や細胞のすき間をすり抜けて移動する、この性質を何というでしょうか？

1. 貪食作用
2. 遊走
3. 変形能
4. 趨化性(すうかせい)

②体に入ってきたウイルスや細菌の情報を記録し、次に同じ敵が現れたときにすばやく対応できるようにする免疫細胞はどれでしょう？

1. 白血球(好中球)
2. B細胞
3. 記憶細胞
4. 樹状細胞

回答はTUNAGよりお願いします。

## 景品例

